

6. トルコギキョウの「種子冷蔵＋固化若苗定植」の定植適期（技術）			
[要約] トルコギキョウの「<u>種子冷蔵＋固化若苗定植</u>」による秋出し作型における<u>定植適期</u>は根がセルトレイの壁面に達する直前で、種子冷蔵の出庫後20日頃である。			
研究室名	中山間農業研究室	連絡先	0868-57-2758

[背景・ねらい]

トルコギキョウの若苗定植では定植時の苗齢によって定植後の生育が異なり、ロゼット回避効果や品質向上効果が異なる。そこで、「種子冷蔵＋固化若苗定植」による秋出し作型における定植適期を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 種子冷蔵の出庫後20日頃に株の生育や根の伸長が一時停滞した。この頃には根がセルトレイの壁面まで伸長し、直後には底穴から根が出始めた（図1）。
2. 定植後の株の生育は、出庫から20～25日後に定植した区が最も優れ、それより早くても遅くても劣った（図2）。
3. 切り花品質は出庫から20日後に定植した区が最も優れ、それより早くても遅くても劣った（表1）。

これらのことから、トルコギキョウの「種子冷蔵＋固化若苗定植」では根がセルトレイに到達してから定植すると定植後の生育や切り花品質が劣ると考えられ、定植適期は根がセルトレイの壁面に達する直前で、種子冷蔵の出庫後20日頃である。

[成果の活用面・留意点]

1. 種子冷蔵は406穴のセルトレイに播種後、10℃暗黒条件で35日間行う。
2. 品種や栽培条件によって根がセルトレイの壁面に達するまでの日数は異なる。このため、種子冷蔵の出庫後15日頃から苗を抜き取って観察し、定植が遅れないように注意する。
3. 定植適期の苗は概ね子葉展開直後で乾燥に弱い。このため、定植と灌水をていねいに行い、定植後はべたがけ資材で覆う。

[具体的データ]

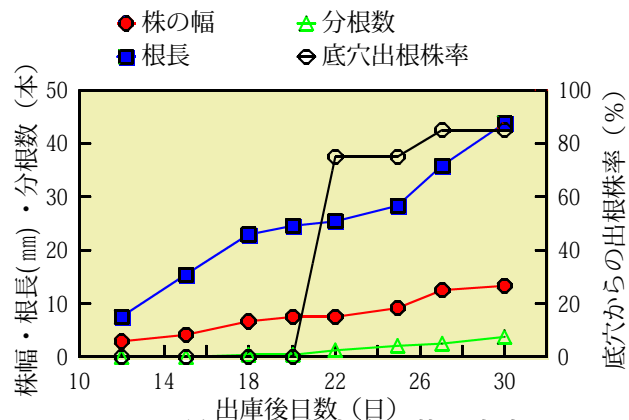


図1 種子冷蔵出庫後の苗の生育

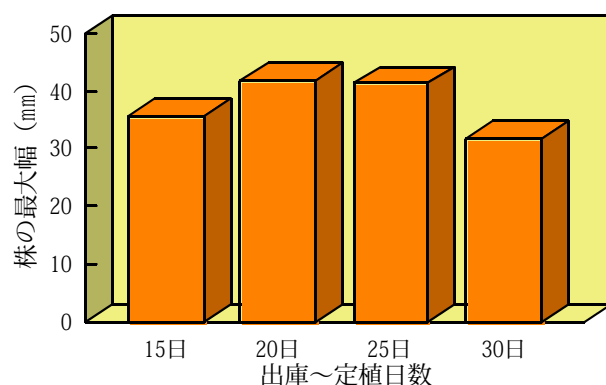


図2 種子冷蔵出庫から定植までの日数が株の生育に及ぼす影響
出庫6週間後

表1 種子冷蔵出庫後の育苗日数が切り花品質に及ぼす影響

育苗日数	開花日 ^{a)}	切花長	切花重	莖径 ^{b)}	側枝数	側枝長	小花数 ^{c)}	ロゼット率	開花率 ^{d)}
	月/日	cm	g	mm	本	cm	輪	%	%
15日	10/04	57.6	34.4	3.8	2.3	31.9	4.9	0.0	90.0
20日	09/30	61.2	36.0	4.0	2.5	33.6	5.3	0.0	95.0
25日	10/01	59.9	34.2	3.7	2.1	33.8	5.1	0.0	100.0
30日	10/05	56.7	32.9	3.8	2.0	31.5	5.0	0.0	95.0

a) 小花3輪開花日

b) 一番花直下の節間径

c) 切り花時にかく片の開いた概ね蕾高1.5cm以上の開花可能な小花数

d) 10月末までに開花した株数/調査株数

耕種概要

品種：あすかの空 種子冷蔵：10℃35日 播種日：5月10日 出庫日：6月15日

[その他]

試験研究課題事業名：固化剤を用いた地域特産花きの新育苗システムの開発

予算区分：県単

研究期間：平成11年～13年

関連情報等：平成12年度試験研究主要成果：トルコギキョウの秋出し作型における固化剤を利用した若苗定植、トルコギキョウの若苗定植における種子冷蔵併用効果

